

選挙管理委員長に 対する質問

一人会派クラブ 谷口達郎

市長選・参議院選挙日の 違いの理由は

問 市長選と参議院選を同日選挙としなかった理由は。

答 市長選・市議補選・参議院選を同時に実施すると、4種類の投票となります。選挙会場等のスペースや投票機器・立会人などの問題で同時に実施が難しいと判断しました。

問 投票所の距離を近くに。

答 3 km以内にしています。

問 立会人に若い人を。

答 広報で募集して65人の応募があり、20代30代の若い世代の人を、期日前と投票日に勤めていただきます。

問 投票所の車の乗り入れや、入り口の段差の解消を。

答 段差解消のためのスロープや車椅子を備え付けています。車の乗り入れは地理的条件や施設管理上、多数の車両の乗り入れは難しいです。

政治はあなたが
主役です！



「選挙くん」は埼玉県の選挙統一キャラクターです

行政視察報告 (二会派)

クリーン・ネット21

デマンド交通・自治基本条例

平成22年5月10日から12日の日程で、宮城県角田市・岩手県奥州市・青森県八戸市・八戸ブランド創出プロジェクト」を視察研修しました。

角田市では、市民バスの運行を行っていましたが、利用者が減少し委託費用の増加が市財政を圧迫したため、玄関から目的地まで気軽に利用できるデマンド型乗合タクシーへの転換が計られました。運行は平日のみで利用登録および電話予約が必要です。平成22年3月末現在の利用者数は、市民バス利用者数を超える状況となっています。本市におけるコミュニティバスの現状、また運行未実施エリアを考える上で、大変参考になる視察でした。

奥州市では、自治基本条例を視察しました。条例の体系は情報共有・市民参画・協働から構成され、特徴としては「子どもの権利」と「住民投票制度」を規定したことです。施行された条例は、市民が主役であり、市民目線での表現や内容が取

り入れられ、開かれた行政と積極的な市民参画によるまちづくりという推進理念は、本市でも計画されている自治基本条例策定に大いに参考になると考えられます。



角田市にてデマンド型交通システムの説明を受ける

鴻創会

八ツ場ダム視察

3月30日、群馬県吾妻郡長野原町にある八ツ場ダム広報センター「やんば館」及び、ダム工事個所で八ツ場ダムについて調査研究をしました。

八ツ場ダムは、吾妻郡長野原町・東吾妻町にまたがる工事で、国・県及び町が一体となって取り組んでいます。昭和27年に利根川改修改訂計

画の一環として調査着手し、昭和45年11月に建設工事が着手されました。平成21年9月に前原国土交通大臣が工事の中止を発表したものです。3月末の工事の進捗状況を現地へ赴き、目の当たりにしてきましたが、現在も工事が進められており、今後の方針等がまだはつきりとしていません。

昨年9月末時点での進捗状況は、用地取得83%、家屋移転78%、付け替え鉄道87%、付け替え国道・県道81%です。

ダム底に埋没する地区の住人たちは、保証基準妥協後に3分の2の人は他の地域へ移転し、3分の1の人は埋没しない造成された地域に移転しています。今ここでダム工事を中止すると、工事のために移転をした人たちは一体何のために何十年も考え苦しんだのかと痛みを共感しました。



八ツ場ダム工事現場の前で